

媒体名	朝日新聞
掲載日	2015. 1. 14

人の動き 服がコピー

817
帝人・関西大が新素材開発



帝人と関西大学が開発した素材のシャツや靴下、枕カバー

動きをコピーできる素材を
帝人と関西大学は、人の
開発した。この素材を使っ
た服を着て動いて、データ

をロボットに覚えさせれば
同じ動きをさせることがで
きる。将来、金属加工の職
人技をロボットにまねさせ
たり、医師が遠隔操作で手
術したりするなど幅広い分
野で役立てたいという。

曲がるときにかかる圧力
を電気信号に変える性質が
ある「バイオプラスチック」
(ポリ乳酸)を使った。
これを太さ約0・02mmの糸
にして織りこんだ素材で服
をつくり、服につけた小型
無線通信機から人が動くデ
ータを取り出すという。

このデータをロボットに
伝えると、ロボットが服の
動きと同じように動く仕組
みだ。帝人の開発担当者は
「様々な用途に使える可能

性がある」と話す。帝人は
この素材をウェアラブル
(身につけられる)端末とし
て活用できないかと考えて
おり、2〜3年後の実用化
を目指すという。(伊沢友之)